

白色のセルに数値・内容を入力してください。色付きのセルには触らないでください。

【小海町】校務DX計画

2025年6月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	※留意事項
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	100%				・クラウドツールの未活用やFAXでのやり取り・押印の見直し、不合理な手入力作業の一扫については、校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因になっているものであることに十分留意すること。
	不合理な手入力作業の一扫に取り組んだ学校の割合	100%					
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	0%	0%	100%			
選択項目	1.児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受けつけ、学校内で集計している学校の割合	0%	0%	0%	100%		・自治体として力を入れたい内容をリストから選択する。 ・選択肢はGIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストの34項目より作成。自己点検の結果等を踏まえつつ、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題を選択する。
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	0%	0%	0%	0%	100%	
	34.「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用している学校の割合	0%	0%	0%	0%	100%	
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド化に伴う経常経費の発生 ・クラウド化によるICTの苦手教職員への支援 ・クラウド化に対しての保護者の理解 					
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・DX推進体制の構築 ・ペーパーレス化に抵抗感のある教職員の理解 					
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・押印廃止など、まずは学校と教育委員会でのやり取りについて、DX化していく必要があると感じる。学校と教育委員会とのやりとりにチャットを取り入れるなど、働き方改革に寄与できる取り組みを推進していく。 ・クラウド化について業者と研究していく。 					